

生コン業者ら熱視線

宮南や
宮城 整備見据え勉強会

一関

県南生コン業協同組合(安東邦男理事長)は18日、一関市上天槻街のホテルサンルート一関で、本県の北上山地(北上高地)が建設候補地とされ、宇宙誕生の謎に迫る大型加速器国際リニアコライダー(ILC)の誘致を見据え、生コン業者らを対象にした勉強会を開催した。最



ILCに関する講演を真剣な表情で聞き入る参加者



東北誘致

新の動向やトンネル建設の概要などについて理解を深めた。
県内や宮城県の生コン業者ら約70人が参加。県の大平尚企画理事は「ILCを巡る最新の動向とマスタ

「プランについて」と題し講演した。ILCでの実験概要や東北と県内の誘致実現に向けた動き、国の有識者会議での検討状況を説明し「政府の誘致決定にはILCへの国民理解が必要となる。そのためにも東北が一体となって普及啓発

や関連産業の育成に取り組むことが重要」と呼び掛けた。
高エネルギー加速器研究機構(KEK、茨城県つくば市)の吉岡正和名誉教授(岩手大客員教授)はILC実現による経済効果やトンネル建設の概要、ILC

の関連施設建設への木材活用などについて説明した。
安東理事長(竹)は「生コン業界だけでなく、今後は砕石業界や建設業界などとも連携しながら、どういう形で関わられるかを具体的に検討していきたい」と先を見据えた。